

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
計算機工学Ⅱ Computer Engineering II		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択 ()		「Cプログラミング及び演習」と「計算機工学Ⅰ」を受講した学生に限る
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
Cプログラミング及び演習・計算機工学Ⅰ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
JAVAプログラミング				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小林大輔	講義棟1F	火曜～金曜 9:00～18:00 (授業及び会議の時間を除く)		授業中に指示します
授業の概要				
アセンブラ言語の理解を通じて、コンピュータのしくみを学ぶ。				
授業の目標				
①アセンブラを用いた簡単なコンピュータシステムの設計ができるようにする。 ②ユーザインタフェースやOSなどの要素技術や、その上で実行されているアプリケーションの動作原理を説明できるようにする。				
授業の方法				
CPUの動作を理解するためにCOMET-IIを用い基本的なアルゴリズムの演習を行う。さらに、OSやアプリケーションについても具体的な例を示しながら講義を進める。				
学習の成果 (学習成果)				
授業の目標①②を達成すると、アセンブラによるプログラミングができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	計算機システムの開発の流れ			
第2回目	アセンブラ言語の概要とその応用			
第3回目	仮想計算機COMET II とアセンブラCASL II			
第4回目	アセンブラCASL II 命令の概要			
第5回目	アセンブラCASL II のプログラミング (基礎)			
第6回目	アセンブラCASL II のプログラミング (応用)			

第7回目	アセンブラCASL II のプログラミング (デバック)	
第8回目	アセンブラCASL II のまとめ、	小テスト
第9回目	計算機システムの構成要素	
第10回目	ユーザーインターフェイスの概要	
第11回目	入出力インターフェイス	
第12回目	割り込み処理	
第13回目	OSの概要、	小テスト
第14回目	計算機アプリケーション④概要	
第15回目	計算機システムの現状と将来像	

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		加点はしないが、受講態度が著しく悪い場合は減点し、場合によっては退室してもらう。
レポート		
調査報告書		
小テスト	20%	テキストの演習問題を用いて小テストを実施する。満点となる条件は授業で説明する。
試験	80%	16週目に試験を実施する。
発表内容 (態度含む)		
その他		無断欠席は1回につき5点減点する。理由のない遅刻2回で1回の無断欠席として減点する。

教科書と参考図書

堀桂太郎 「図解 コンピュータアーキテクチャ入門」

履修上の留意点・ルール

--